

川口市内における違法運転等交通違反 の取り締まり強化を求める要望書

本市における交通事故死者数について、令和5年は1年間で8人でありましたが、令和6年は9月末日現在で既に9人に達し、ここ5年の同時期で最も多く、由々しき事態であると捉えております。

折しも秋の交通安全運動の期間内である9月23日夜半に発生した交通事故では、本市前川2丁目の交差点において、18歳の男が無免許で運転する乗用車と衝突した原付バイクに乗車していた2人のうち、17歳の男性が死亡し、16歳の男子高校生が意識不明の重体となりました。

また、29日早朝には、本市仲町の交差点において、18歳の男が酒気帯び運転し一方通行を逆走する乗用車と、出会い頭に衝突した被害車両を運転していた51歳の男性が死亡する事故が発生し、若年層による交通死亡事故が続いております。

これらの死亡事故は、前方不注視、信号無視、通行禁止違反、酒気帯び運転などの法令違反と運転技術の過信や遵法意識の欠如が要因となっています。

この他にも、本市では、明らかに過積載であるトラックが狭隘な生活道路等を徐行することなく速度超過と考えられるスピードで走行しているなど、交通事故を誘発しかねない事例が頻繁に報告されており、市民からは、生活上の安全が脅かされるのではないかと今後について危惧しているという声が数多く寄せられています。

こうしたことに鑑み、交通事故を未然に防止するためには、交通安全の啓発とともに、違法運転等の交通違反に対する厳格な取り締まりが必要不可欠であり、効果を発揮するものと認識しているところであります。

つきましては、貴署として適切に対処していただきたく、次のとおり要望いたします。

記

1. 本市内における速度超過、信号無視、飲酒運転、無免許運転又は過積載などの違法運転の交通違反について、運転技術の未熟な若年層や交通環境に不慣れな運転手に対してなど、地域の実態に即した取り締まりを強化し、厳格に対応していただきたい。
2. 市民や関係機関等から交通違反事例の情報提供があった際は、状況確認等について迅速に対応していただきたい。
3. 交通違反の取り締まり等を実施した際には、市民等の安心に資するよう、可能な範囲内で実施結果を情報として公表、公開していただきたい。

令和6年10月17日

川口市長 奥ノ木信夫